

2023年3月6日
株式会社パスコ

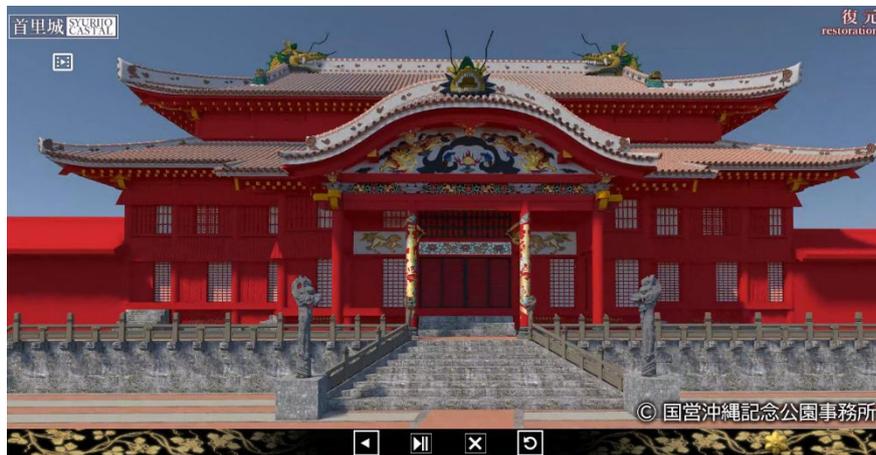
(報道資料)

首里城公園で管理運営のDX化を目指した実証実験に参加 - VRコンテンツを活用した3次元の展示解説を支援 -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所に沖縄県、一般財団法人沖縄美ら島財団と連携して実施する実証実験に参加します。

本実証実験は、XR（クロスリアリティ）^(※) 展示のほか、自動運転や人流解析などの新技術を活用し、首里城公園の運営管理のDX化を目指すもので、3月10日（金）から首里城公園内で実施します。このうちパスコは、首里城を復元したVR（バーチャルリアリティ）コンテンツなどを活用したXR展示解説の検証に取り組みます。

※ XRとは、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）、MR（複合現実）、SR（代替現実）など新たな体験をつくり出す技術の総称



首里城正殿を復元したVR

■首里城の火災とこれまでのパスコの取り組み

2019年10月31日に、沖縄の歴史と文化を象徴する首里城で火災が発生しました。

パスコは、火災翌日より、ヘリコプターから撮影した2,000枚以上の航空写真を使って3次元データを作成し、国営沖縄記念公園事務所などの関係機関やメディアに提供。その成果は、迅速な状況把握と復元の計画策定に役立てられました。その後も、首里城正殿基壇遺構の保護と維持管理を支援し、現在では、首里城の歴史を最新のデジタル技術で記録・保存するとともに、今後の維持管理のDX化に向けた支援を行っています。

パスコが実施した災害緊急撮影：<https://corp.pasco.co.jp/disaster/fire/20200415.html>

■実証実験におけるパスコの役割 ～実際に見ることのできない景色を疑似体験～

パスコが担当するXR展示解説に関わる実証実験では、誰でもわかりやすい説明資料や解説資料として提供するための3次元表現を検証します。具体的には、首里城正殿や基壇遺構において、首里城復元のVRコンテンツとBIM（Building Information Modeling）^(※) データを組み合わせ可視化し、外観・内観の建築過程や完成時の様子を3次元で表現することで、来場者が実際に見ることができない景色を疑似体験していただきます。

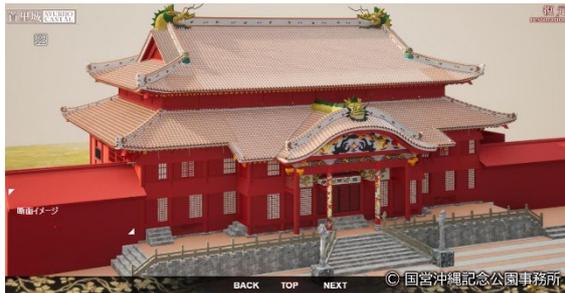
※BIM：設計施工から維持管理までのあらゆる工程に活用するための建築物の3次元モデル



展示メニュー



正殿と基壇遺構を重ね合わせた VR



復元した VR



構造を視覚化した断面の VR

■実証実験の概要

本実証実験は、首里城におけるこれまでの復元・復興の取り組みを踏まえ、新技術を活用して首里城公園の運営維持管理の DX 化を目指すためのもので、その結果を元に、新たなビジネスモデル構築に向けた実装計画を策定します。

【名称】	令和 4 年度 国営沖縄記念公園 DX 推進業務 実証実験
【期間】	2023 年 3 月 10 日 (金) ～
【場所】	沖縄県首里城公園内
【実施】	内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所、 沖縄県 土木建築首里城復興課 一般財団法人沖縄美ら島財団
【参加企業と役割】	日本工営株式会社 : 各実証実験の全体コーディネート ソニーグループ株式会社 : 自動運転に関わる実証実験 ヤマハ発動機株式会社 : 自動運転に関わる実証実験 株式会社パスコ : XR 展示解説に関わる実証実験 ニューラルポケット株式会社 : 人流解析の実証実験 SCSK 株式会社 : 人流解析の実証実験

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関)

広報部

<https://www.pasco.co.jp/>

press@pasco.co.jp

プレスリリースの内容は発表時のものです